

昭和十九年度上期決算状況

繰上金	四年度繰上金	本年度上期	本年度上期末
繰上金	二五五〇四三	八八九五四	三四三九九七
貸付金	二二二三四	三四六九八五	三七〇二一九
合計	二七八二七七	四三三九三九	七一四二一六

表 貸付金、繰上金、貸付金系年度末残高（単位千圓）

年 度	貸付金	繰上金	貸付金	合計	繰上金	貸付金	合計
十三年度	二二七五〇	〇	〇	二二七五〇	〇	〇	二二七五〇
十四年度	二二八四〇	〇	〇	二二八四〇	〇	〇	二二八四〇
十五年度	一七九二二	〇	〇	一七九二二	〇	〇	一七九二二
十六年度	二二七七八	〇	〇	二二七七八	〇	〇	二二七七八
十七年度	二二〇五七	〇	〇	二二〇五七	〇	〇	二二〇五七
十八年度	二二〇五七	〇	〇	二二〇五七	〇	〇	二二〇五七
十九年度上期	二二二三四	〇	〇	二二二三四	〇	〇	二二二三四

再クシテ貸付金ニ於ケル後遺金係ノ進捗ニ付ヒ該額モ亦此表ノ内ニシテツツアリ、本誌協會利益ノ管理左ノ如クナリ

累年利益配當率

會社名	十三年度	十四年度	十五年度	十五乙年度	十六年度上期	十六年度下期	十七年度上期	十七年度下期	十八年度上期	十八年度下期	十九年度上期
中支振興	無配	氏間株ノミニ 0.045	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	—	氏間株ノミニ 0.06	—	0.06	—	0.06	—
中興業	無配	普通株 0.08 後配株 0.02	普通株 0.08 後配株 0.02	普通株 0.08 後配株 0.02	普通株 0.06 後配株 無配	普通株 0.06 後配株 無配	普通株 0.06 後配株 無配	普通株 0.06 後配株 無配	普通株 0.06 後配株 無配	0.06	—
中水産	無配	無配	無配	0.05	0.05	0.05	0.06	0.07	0.07	0.07	無配
海内河	0.05 氏間株ノミニ 0.06	0.06	0.1	0.1	0.1	0.1	0.08	無配	0.07	0.07	0.08
電業通信	無配	氏間株ノミニ 0.04	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06
上海恒産	0.06 氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06	氏間株ノミニ 0.06
都市交通	—	0.06	0.06	0.06	0.06	無配	無配	無配	無配	無配	無配
中水産	—	0.06	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
上海瓦斯	—	無配	無配	0.06	0.06	0.06	0.06	0.08	0.08	0.08	0.08
中鉄道	—	無配	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	—
海陸運輸	—	無配	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.04	0.04	0.05	0.05
中興業	—	—	無配	無配	無配	無配	無配	無配	0.05	0.05	0.05
中興業	—	—	—	—	—	—	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05
中火柴	—	—	—	—	—	—	—	—	0.08	0.2	0.3
振興住宅	—	—	無配	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.04	0.04	無配
中興業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.06
中興業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

合 計 一五〇〇〇千圓 (紙幣)

第三項 中央生産増殖本部 概況

中央生産増殖本部ハ九月一日一紙幣シ上流大復興ヲ所ノ一極ト

シテ是後ヨリ九月一日一紙幣ヲシテ民衆ヨリ

紙幣シテ式ノ渾然一体ノ概況トシテ中央ニ於ケル生産増殖ヲ進シ

ツツアリ

現行紙幣別紙ノ詳

第一條 中支生産管理本部加定
 一九二二〇
 第二條 在上海大日本帝國輸入後該部所ニ中支生産管理本部ヲ移ク
 第三條 中支生産管理本部(以下該部ト稱ス)ハ中支ニ於ケル鑛工
 第四條 鑛工ノ生産管理ニ關スル事務ヲ掌ル
 第五條 該部ニ左ノ十部一區ヲ置ク

- 一 鑛部
- 二 鑛部
- 三 鑛部
- 四 鑛部
- 五 鑛部
- 六 鑛部
- 七 鑛部
- 八 鑛部
- 九 鑛部
- 十 鑛部

一 生産管理ニ關スル重要施設ノ企畫及各項事務ノ綜合調整ニ關スル事
 二 鑛部ノ所管ニ關セサル事項
 三 鑛部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル
 一 重要鑛山(別表一)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 二 重要鑛山(別表二)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 三 重要鑛山(別表三)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 四 重要鑛山(別表四)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 五 重要鑛山(別表五)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 六 重要鑛山(別表六)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 七 重要鑛山(別表七)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 八 重要鑛山(別表八)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 九 重要鑛山(別表九)ノ生産管理ニ關スル一區事項
 十 重要鑛山(別表十)ノ生産管理ニ關スル一區事項



四 化學工業ノ重要業務乃主企業並備一課スル事也
 第八條 液体燃料部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 液体燃料ノ別表四ノ生産増殖ニ課スル一課事也
 二 液体燃料ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 三 液体燃料ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 四 液体燃料ノ生産設備ノ査察ニ課スル事也
 第九條 一 工業部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 工業部(別表五)ノ生産増殖ニ課スル一課事也
 二 工業部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 三 工業部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 四 工業部ノ生産設備ノ査察ニ課スル事也
 第十條 食糧部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 食糧部(別表六)ノ生産増殖ニ課スル一課事也
 二 食糧部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 三 食糧部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 四 食糧部ノ生産設備ノ査察ニ課スル事也
 第十一條 燃料部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 燃料部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 燃料部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 三 燃料部ノ生産設備ノ査察ニ課スル事也

一 燃料ノ取得ニ課スル事也
 二 燃料ノ配分ニ課スル事也
 第十二條 動力部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 動力及電力ノ確保ニ課スル事也
 二 動力及電力ノ利便増進ニ課スル事也
 三 動力及電力ノ重要設備ノ査察ニ課スル事也
 第十三條 製糖部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 製糖ノ綜合計畵ニ課スル事也
 二 製糖ノ確保ニ課スル事也
 三 製糖ノ重要設備ノ査察ニ課スル事也
 第十四條 基礎部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 基礎部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 基礎部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第十五條 運輸部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 運輸部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 運輸部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第十六條 燃料部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 燃料部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 燃料部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第十七條 運輸部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 運輸部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 運輸部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第十八條 燃料部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 燃料部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 燃料部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第十九條 運輸部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 運輸部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 運輸部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第二十條 燃料部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 燃料部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 燃料部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也
 第二十一條 運輸部ニ於テハ左ノ事ヲ掌ル
 一 運輸部ノ生産計畵ノ編立ニ課スル事也
 二 運輸部ノ生産實際ノ査察ニ課スル事也

12

八 化學工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 液体燃料ノ生産設備ノ確立ニ務ムル事
 二 液体燃料ノ生産設備ノ重要ニ務ムル事
 三 液体燃料ノ生産設備ノ重要ニ務ムル事
 四 液体燃料ノ生産設備ノ重要ニ務ムル事
 九 電力工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 電力工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 電力工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 電力工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 電力工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 十 機械工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 機械工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 機械工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 機械工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 機械工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 十一 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事

十二 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 十三 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 十四 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 十五 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 一 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 二 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 三 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事
 四 造船工業ノ重要部門ニ於テハ左ノ事ヲ爲スル事

本部長ハ在上海、日本帝國大使館駐在、所長トシテ副本部長ハ在上海、
 日本帝國大使館駐在、所長トシテ副本部長ハ在上海、
 第十六條 各部二部長一名、部長若干名ヲ任セシメ、
 部長ハ本部長ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 部長ハ上司ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 部長及部長ハ、部長ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 第十七條 部長ハ、部長ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 第十八條 部長ハ、部長ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 第十九條 部長ハ、部長ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 第二十條 部長ハ、部長ノ命ヲ奉ケテ、部長ノ命ヲ奉ケテ、
 部長會ハ各部部長及部長ヲ以テ構成シ、各部々會ハ各部部長及部長

ヲ以テ構成ス

- 第一 石灰、石膏、石灰石、燧石、螢石、螢石、螢石、螢石
- 第二 鐵、銅、錫、鉛、鋅、鎳、鈷、鉻、鎢、鉬、鈳、鈾、釷、錒、釷、錒、釷、錒
- 第三 鹽、硝石、硫磺、磷、砒、砷、汞、錒、釷、錒、釷、錒
- 第四 酒、糖、油、油脂、蠟、燭、紙、布、絲、毛、皮、骨、角、齒、鬚、髮、爪、毛、皮、骨、角、齒、鬚、髮、爪
- 第五 藥、毒、鹽、硝石、硫磺、磷、砒、砷、汞、錒、釷、錒、釷、錒
- 第六 糧食、糖、米、鹽、油、酒、飲料、水、水産

13



第三項 電氣事業概況

一 従来ノ主要ナル施設概要

支那事業ニ因リ破産セラレタル支那電氣事業ハ日本ノ手ニ依リ復舊セラレ、昭和十三年六月中支ニ於ケル電氣（竝ニ水道）事業ヲ統制經營セシムル爲ニ華中水電股份有限公司設立セラレ、同公司ハ中支那振興株式會社ノ子會社ニシテ日支合辦、支那籍特殊法人ナリ

大東亞戰争ニ因ルニ海峽共同租界内ノ電氣（竝ニ水道）事業ハ華中水電公司受託經營中ナリシモ去ル六月末、日支双方ヨリ同公司ニ出資セラレ現在ニ於テハ資本金一、二、三、〇、五〇千圓（拂込済額一〇九、四四〇千圓）ト日本國一ナリ

上海租界ニ弗動權法商上海電氣有限公司アリテ、セル電氣設備ヲ有スルモ現在ニ於テハ所屬電力ノ全部ヲ華中水電公司ヨリ受託シアリ同公司ハ水道、電車、バス等業ヲ兼營シアリ

武漢地區ニハ新舊兩廠ノ電氣事業アリ、華中水電公司受託經營シアリ

揚州、蚌埠、松江等ニ支那側小電氣事業アリ、華中水電公司等ニ依

リ何レモ華中水電公司ニ於テ指導シアリ、石ノ外作戦地帯ノ各地電氣事業ノ復舊並ニ建設ニ關シ、華中水電公司ヲシテ重ニ所屬ノ協力ヲ爲サシメツツアリ

以上中支電氣事業ノ施設概要左ノ如シ

1 華中水電公司（昭和十九年九月末現在）

設備容量 三〇八、四〇〇 KW

可能出力 一六二、四〇〇 KW

上海共同租界内ノ廠屋トシテ統合セラレタルモノヲ除キ、概

ネ老朽ニシテ能率懸シ、何レモ火力電氣設備ナリ

2 法租界海電車電燈公司（昭和十九年九月末現在）

設備容量 一、一五〇 KW

可能出力 七〇〇 KW

ガリ、電氣設備ニシテ九二六、五〇〇 KW アリシ七一五、〇〇〇 KW

トシ、（五合）ハ陸、海軍之ヲ自收南方へ移設セリ現下ノ情勢ニ

鑑ミ上海地區ニ於ケル予備電源トシテ重視スヘキモノナリ

3 華中水電公司連營受託又ハ協力ノモノ（昭和十九年九月末現在）

設備容量 四〇五、〇〇 KW

可能出力 二二三〇〇K
 蘇州、鎮江、嘉興、九江、漢口各地區ニシテ何レモ火力發電設
 備、老朽ナリ
 合計、設備容量 三六〇、四〇〇K
 可能出力 一九一、七〇〇K

（イ）業務現況ヲ明瞭ナラシムヘキ計數約譽料ノ
 需用狀況（昭和十九年九月末現在）

1 華中水電公司	電力	一八二、六三九戸	五〇三、一五一馬力
2 法商上海電氣有限公司（註端數整理）	電力	一〇七、八三戸	四六三、六二K
3 華中水電公司運管受託又ハ勝力ノモノ	電力	四一〇、〇〇戸	二二、九一〇馬力
	電力	四六七、〇〇戸	三七〇〇K
	電力	四七〇戸	
	電力	四五、一四七戸	

合計	電力	一、六三一戸	二六二、一三馬力
	電力	三〇六戸	四八九K
	電力	二六八、七八六戸	
	電力	一七〇、八四戸	五五二、七四馬力
	電力	一七五、五二戸	五〇五、五一K

2 華中水電公司運管受託又ハ勝力ノモノ（蘇合前ノ上海舊共同 租界内ノ敵産電氣事業分ヲ言ム）	炭消費量	三一、一七五、七四七、八KWH
	炭消費量	二一、二三八、四六二、五
	炭消費量	三二、二五三、九
	炭消費量	一〇三、
	炭消費量	三七、八三〇、七八六、一KWH
	炭消費量	二四、五九六、〇二五、四
	炭消費量	四〇〇、三五九、



ムノアリ

地元農民ノ熱意ニ依リ常州丹陽地區ニ於テ實施セル電氣用電力施設本年第一期工事ハ農産物増産上成績見ルヘキモノアリ來年第二期工事ハ計畫第二期工事ヲ實施セシムルヲ可トスヘシ尙本年第二期計畫中ナリシ蚌埠電所ノ建設ハ事情ニ依リ一時收止メノコトトセリ

(2) 防護

電力施設殊ニ發電所ノ防護ニ關シテハ從來ヨリ特ニ留意シアリタルモ最近ノ空襲ニ際シテ海、南京ノ各發電所等ノ防護ニ對シテ防空施設ノ注意完備ノ要切ナルモノアルニ鑑ミ目下軍官指導ノ下ニ之カ實現ヲ企圖スルト共ニ設備復ノ復舊ニ備シテモ萬全ノ對策ヲ講シツツアリ、之カ爲ニハ莫大ナル資金資材ヲ要スルモ事業ノ重要性ニ鑑ミ可及的ニ之カ確保ヲ圖スルト共ニ非常事態ニ於ケル支那人勞務者ノ離散ニ備ヘ速ニ要員等ノ確保ヲ圖ル爲在留邦人ノ一部動員ヲモ考慮シアリ

(四) 電力消費規正

石灰等前ヨリ電力消費規正ハ數次ニ亘リ漸次強化シ來リタルモ急

速ニ増大スル軍需・特需用電力ニ對シテ土產炭・補助燃料(穀類・油類等)ノ利用等燃料ノ確保ト共ニ現正ノ實施面ニ補助燃料(穀類)ヲ以テ消費電力ノ較力化ニ遺憾ナカラシムル爲各般ノ消費ヲ節シツツアリ、又軍ニ燃料等用ノミナラス空襲等ニ成ル非常事態ニ備ヘ必要不可缺ノ需用ニ對スル供給ヲ確保スル爲更ニ萬全ノ措置ヲ考慮シアリ
尙電力消費規正ニ關スル根本方針ヲ審議スル爲建設部長ヲ委員長トスル電力消費審議委員會(日華混合)ヲ設ケアリ

(イ) 電氣料金

公共事業料金トシテ常ニ低廉ヲ旨トシ來レルモ石炭價格ノ値上リ一設物價ノ騰貴ニ伴ヒ數次ノ改正ヲ經タリ。而シテ最近ニ於ケル物價ノ異常ナル昂騰ニ依リ諸經費ノ増大ハ事業収支ニ甚大ナル影響ヲ與ヘ事業運営ヲ危殆ニ與セシムル虞アルヲ以テ去ル十一月十六日ヨリ現在料金ニ値上ケセルモ尙月約三四〇〇〇〇千元(儲備券)ノ缺損ヲ生シ前モ逐月累増ノ傾向ニアリ、之ニ對シテハ物價擧南ニ對應スル料金制度ノ設定ヲ考慮シ目下中國側ト打合セ中ナリ

(ロ) 電氣事業統合

4

電氣事業ノ理想の遂行ヲ圖ル爲ニ送電ノ一貫經營ノ形骸ヲ確保スルニ及リ之カ爲ニハ七海(安南電氣)ヲ殆メ各地ニ綜合電氣事業ヲ可及の速ニ安收組合スルノ要アリ

兩自家電設備ノ轉活用
 華樂後遊休化セル所積ヲ主トスル自家電設備ハ重要地下資源ノ開發其ノ他製鐵、アルミ、アセチレン製造等ノ電源トシテ供出セシメ本年夏ニ於テ其ノ殆ント至ルノ轉活用ヲ完了セリ
 目下送電中ノ自家電設備ハ非常時態ニ於ケル予備電源トシテ之カ活用万計畫シアリ

第四項 瓦斯事業概況

一 設備
 瓦斯發生設備及能力(一九一九年九月末現在)

- (A) 勃爾浦工場 一基(三十對)
- 水匠瓦斯發生室 一基
- 最大能力 一日ニ付 一、三〇〇〇立方
- (B) 尖山工場 一日ニ付 一、〇五〇〇立方

煤式貯炭
 最大能力 一日ニ付 一、〇五〇〇立方

三 需用狀況
 需用家戸數及供給量(一九一九年九月末現在)

- (A) 需用家戸數 二〇、五七四件
- (B) 供給量(九月) 一、八六三、〇四〇立方
- 販賣量(自昭和十八年九月一〇月) 至昭和十九年九月一〇月)

- 1 瓦斯
 (A) 發生量 三〇、〇一〇、二八七立方
 - (B) 販賣量 二五、四七二、七二七立方
 - 2 瓦斯
 (A) 發生量 三七、五九三對
 - (B) 販賣量 一六、八六四對
- 四 事業收支(自昭和十八年九月一〇月) 至昭和十九年九月一〇月)
- 1 總收入 一、二四七、二七九圓
 - 2 總支出 一、二〇五、四〇六圓



一 設備 (十九年九月末現在)

- 1 華中水電給水表大能力 一日 七三三〇五〇³米
- 2 法商上海電氣電灯公司 五〇〇〇〇〇
- 3 華中水電運管受託及協力分 一三八五〇〇

二 需要状況 (十九年九月末現在)

- 1 華中水電 需要家戸數五〇九六五戸
- 2 法商上海電氣電灯公司 二〇〇〇〇
- 3 華中水電運管受託及協力分 一〇六四五

三 販賣量

最近一ケ年間 自十八年一〇月至十九年九月
但シ法商上海電氣電灯公司ヲ除ク

1 供給量	七二一三七九一〇 ³ 米
2 販賣量	五六三一九〇四〇

四 爭奪收支

最近一ケ年間 自十八年十月至十九年九月

1 收入	四四〇五三九四四
2 支出	四三〇四七五三七

五 考

設備地區名

上海、(南北、浦東、南市、舊租界) 南京、蘇州、杭州、鎮江、安慶、九江、漢口、漢口特區

第六項 中文ノ鑛業概況

現在中文ニ於ケル鑛業ノ主要ナルモノハ鐵鑛、銅鑛、鉛鑛、鋅鑛、錳石、石灰等ニシテ其ノ他鉛鑛、亞鉛鑛ヲ產出ス

一 華中鑛業

(一) 鐵鑛關係

馬鞍山鑛業所、桃冲鑛業所、鳳凰山鑛業所ノ三鑛業所ニシテ其ノ生産量ハ左ノ通り

昭和十七年	一五〇五八一九屯	對日供給量
	一三八六六五〇屯	

十八年 一七七一八二二屯
 十九年上期 四九三三二〇屯
 本年産目標ハ一五〇〇〇〇屯ニシテ日標遂行可能ナリ

鑛石關係
 湖州、象山、武義、義烏ノ四縣鑛所ニシテ別ニ金鑛出産所アリ
 テ其ノ生産量續左ノ通り

昭和十七年度	生産量	日供給量
十八年度	五四一二四屯	三九一一五屯
十九年度上期	一一〇二八三屯	六七一一二六屯
本年産目標ハ	六八八六六屯	三八二二九屯

上海選礦場
 本年産目標ハ一八〇〇〇〇屯ニシテ日標遂行可能ナリ

鑛石ヲ原産トシ浮遊選礦ヲ行ヒ所製品位弗化
 多シ以テ精製ヲ出スル目的ヲ以テ精製二萬屯ノ生産能力ヲ有
 スル選礦工場ヲ建設シ近ク完成運轉開始ノ見込ナリ

安徽省銅陵縣銅官山地區ニ據テ昭和十八年始ヨリ鑛業準備作業
 執行中ニシテ日下通海及斜坑ノ開坑作業進行中ナリ、昭和十八
 年度生産量續ハ九一一屯ナリ。本年度日標五〇七ノ一二七五〇
 屯ナルモ、鑛況ノ悪化及選礦施設ノ遅延等ニヨリ本年度産出ハ大
 減シ〇〇〇屯外ニ二〇七ノ一五〇〇〇屯ニ止ルナリ

西浦、瀘溪
 鳳凰山、嶺東所ニシテ玉山、龍山口、樓山ノ三嶺山ヲ發行シ其
 ノ生産量續ハ左ノ通り

昭和十七年	生産量	日供給量
十八年	一八九四八屯	一一一五〇屯
十九年上期	九四三七屯	一〇四七五屯
本年産目標ハ	三二九〇屯	二五二〇屯

本年産對日供給日標ハ二〇〇〇屯、二五〇〇屯以上ハ遂行可能
 ナルモ更ニ本年産ハ増産ナサシム可ク施設ノ擴張新設ヲ計リ増
 産努力スル計畫ナリ即チ應急増産計畫トシテ來ル十一月ヨリ
 明年三月空ル五箇月間ニ滿産有率二〇%精製八一二五屯三〇%
 精製一四二五〇屯合計二二三七五屯外ニ現地用一八%品位一

二〇〇〇年以前に出セシトス
 明年以降以降ノ計畫トシテハアラユル事願ニ備ヘテ充分ナリト認
 ムカ貯積ヲ行ヒタル上ハ將來狀勢ノ變化ニヨリ増産ヲ要スセラ
 ル物合直チニ之ニ應ジ得ルノ實力ヲ失ハサル程度ニ於テ事業ノ
 整備縮少ヲ斷行シ新規ノ建設ハ必要止ムヲ得サルモノノ外ハ可
 成之ヲ中止スルト共ニ生産ノ少ナル山・品質ノ低劣ナル山
 山・現存施設ノ僅少ナル山ハ急ニ事業ヲ中止シ採行ヲ繼續ス
 ヘキ山ニアリテ他日ノ増産ニ備フル事未滿ノ準備ヲ行フ事
 ヲ主トシテ可及的ニ生産ヲ抑制シ暫ク狀勢ノ變化ヲ待ツ方計ノ
 下ニアリ
 昭和二十年産生産計畫

種別	年産量(屯)	備考
南嶺石	三六〇〇〇〇	現狀繼續但シ全部粉額ヲ除去シ日供給ノ予定 品位六五%

大凹山	五〇〇〇	採頭及主要坑道通進ノミニ止ム 品位 五六%
東山	一〇〇〇〇	平用鐵礦ノ生産ニ力シ少クトセテ計數生産 ノ予定品位 五三%
梅子山	一〇〇〇〇	現地及北支向ノ豫定品位 五三%
鳳山	一〇〇〇〇	品位 五三%
平用(平用)	二〇〇〇〇	品位 五三%
向(高炉用)	六〇〇〇〇	採頭及坑内採掘段取ヲ主トシ大凹山ハ品位 五三%
大平谷山	〇	休止
計	五七五〇〇〇	
發石		
君里石龍	一八〇〇〇	採頭及採掘段取ヲ主トス
將馬塘	二〇〇〇〇	菱島ヨリ送電完成迄ハ手掘ヲ主トス
東寺山	〇	休止
南山區	一八〇〇〇	
雲黃山區	〇	休止

買山	二四〇〇〇	休止	坑内整理ヲ主トス
湖山	八〇〇〇〇	休止	
計			
遊選選			上津場選場ハ銅選ノ浮選ニ專用ス
滝			
櫻山	二〇・六〇〇		常木陳ノ出選ヲナス
王山	二五・七〇〇		
計	四六・二〇〇		
銅			
選設設備			
完成前	三三〇		粗選(品位一八%)月産三〇〇〇屯ヲ七海選 場ニテ選選ス
同上完成後	月一・二〇〇		粗選(品位一八%)月産一〇〇〇〇屯ヲ銅選 場ニテ選選ス

硫化鐵	四〇〇〇〇	現地及北支向
-----	-------	--------

二日本製鐵
一 大冶鐵山
一 最近ノ生産實績及對日供給量

昭和十七年 生産量 對日供給量
 十八年 一四四四八三七屯 一四一・二五八六屯
 十九年七期 一二〇三五六五屯 九九・二九八二屯
 (四)設備概要 五四四三九一屯 二五五・二二〇屯

1 採選設備
 鑿岩機二四八台 シャプナー一五台 オイルプアー一五基 空氣
 壓縮機五〇〇馬力二台 二〇〇馬力 一〇〇馬力 三台
 大型 穿孔機二台 槓揚機 エアーシヨベル一式 試錐機四台等ヲ
 備フ

2 動力設備

火動發電所用發電機三〇〇〇キロワット二台、ディーゼル發電所用發電機七五〇馬力二台、五〇〇馬力二台、四〇〇馬力一台、一三〇馬力一台及變電送電設備一式ヲ備フ

3 積込輸送設備

クラッシュヤ一(毎時一〇〇屯)二台、貯蔵槽各鐵山ニ各式積込機(毎時五〇〇屯)二基、鐵道(廣軌、山元、江岸間)延長約六〇新、機關車(一〇〇屯、六〇屯、四〇屯、三〇屯)計一八台、運石用貨車一五七台、雜貨車及客車一〇〇台、機車(一屯、二屯)制車其ノ他一七五〇台、ボンヴァー六隻、港内用小蒸汽船及駁船船六等ヲ備フ

4 工作設備

木型、鋸、治、製法、仕上、設備各一式、酸素製造設備一式、(從業員數(昭和十九年九月末現在))

日人 三九二
華人 四、五八〇
苦力 六、八九七

計 一二、六九九

本年産目標一三、五〇〇屯トシ、従業員約一三、〇〇〇ヲ使役シ、生産努力シ、居リ本年産目標ハ大体ニ於テ遂行可能ナリ、周邊ノ敵情概シテ險惡ナルヲ審慮シテ、居リ直接攻撃ヲ受クルコト少キニ敵機空襲ハ相草アリ

三 孤山炭礦

坑内堀昭和十九年産生産予定量ハ六万屯ニシテ、本年産上半期ニ於テハ水没ニ依ル採炭地域ノ縮少ニヨリ、生産實績ハ約二萬屯ニ達ナリシ、下半年期ニ於テハ水没ノ復舊、從業員ノ増加ヲ圖リ、約四万屯採掘シ、生産予定量ヲ確保シ、得ル見込ナリ、從業員數ハ約五百名ナリシ、下半年期ニ於テハ之ヲ倍加スル予定ニシテ、目下募集ニ努力中ナリ、昭和二十年産ニ於ケル生産計畫ハ現在設備ニ依ル最大生産量ヲ目途トシ、十二萬屯ノ予定ナリ

四 淮南炭礦

昭和十九年上期ノ出炭ハ三五七、五三九屯ニシテ、下期ノ出炭予定ハ五二四、〇〇〇屯ナリ、上期ハ農繁期ヲ控ヘタルコト、其ノ他ノ事由ニヨリ、工人在籍數所要在籍ヲ著シク下廻リタルタメ、予算

